

ITビジネスモデル委員会報告 2018年度 8月

ビジネスで活躍する機械学習の進め方

株式会社グルーヴノーツ

講師 代表取締役社長 最首 英裕様

2018/8/28(火)株式会社大塚商会 本社 会議室

プレゼン内容のポイント

株式会社グルーヴノーツ様のスローガンは、
「世の中の人々がもともとめていることをやっ払いこう」

代表取締役社長 最首英裕様から
「MAGELLAN BLOCKSを利用した実践的AI利用法」についてお話を頂いた。

1. 会社概要
2. What is AI
3. MAGELLAN BLOCKS
4. Case Studies

感想

- 「AI」とは、私が考えていた物とは全然違うので、大変興味深いお話を伺う事が出来ましてとても参考になりました。特に量子PCの登場で今まで長期間かかる情報処理が一瞬で終わる様になる事、その為、情報分析した結果を導くのでなく、最適な組み合わせ(効率化)を構築/見つける事が大切になるのだと関心させられました。
- AIについて、ある程度分かっているつもりでしたが、「数理である」という言葉には衝撃を受けました。確かにその通りなのですが、やはり「知能」という言葉に惑わされていたと感じております。また、大量なデータは不要で、なにを使うかが重要であり、そのためには企画力や、ユーザの業務知識を持ち、理解をするかが重要であることがわかりました。今後は、より具体的にAIについて勉強をしていきたいと思えます。
- NNの深層学習を採用したMAGRAN BLOCKSの優位性を再確認することが出来て大変有意義でした。また、AIそのものの定義、深層学習の的確性、AI活用の留意点、そして、アニーリング方式の量子コンピュータによる組み合わせ最適化問題への解決への展望など、業界知識的にも楽しく拝聴させていただきました。

感想(続き)

- AIがオープンな数理モデルの組み合わせである点は勉強になりました。また、AIで予想されたものへの最適なりソース配置が問題となり、それが既に解決ら技術的には向かっていることはすごいことだと感じました。自分の知見やアンテナを広げる必要性を強く感じました。
- 久しぶりにとても難しいセミナーを聞きました。AIを別の観点から見る事が出来良かったです。AIビジネスを進めるうえで参考になりました。
- 今までいくつかAI関連のセミナーを受講しましたが、一番理解できました。同じモデルを使えばどのAIを使っても同じ結果が出るという話には非常に驚きました。弊社のビジネスにAIをどのように活用するか検討していましたがさらに具体的にイメージが湧きました。
- 大変参考になりました。AIに対する認識が変わりました。使ってみたいと思いました。事例がとても分かりやすかったです。
- AIの技術的な話はもちろん、インテグレーターの役割、ビジネスモデルのヒントが聞けて大変参考になりました。

編集後記

今回はグルーヴノーツ様の取り組みについて、お話をお聞きしました。特に「AIにまつわる世の中のウソ」について、AIは定義がないため現状は、知能ぽくみえるもの他、あらゆるものをAIと言っている。深層学習(ディープラーニング)で数理モデル(ニューラルネットワーク)を組み構築するのが本来のAIである。数理モデルは多くの種類があるが、Google、Facebook、大学が作り、論文発表しているので、自由に使える。数理モデルは業務システム等の開発モデルとは違いただれが作っても同じものができる。デモおよび事例をご紹介いただき、AIに関する知識を深めることができました。

下記URLから今回のプレゼン内容がダウンロード出来ます(会員限定)

<https://www.jcssa.or.jp/memberJCSSA/dl2.php>